

議会だより

No.74

平成22年(2010)
8月16日発行

かがみ より

さわやかに 歴史と未来の 出逢うまち



上郡のマスコットキャラクター
円心くんとエイトちゃん

6月定例会 5・7月臨時会	P.2~3
付託審査報告	P.4
委員会報告	P.5~6
一般質問	P.7~11
チャレンジデー2010	P.12



子ども議会開催 平成22年7月20日

議会中継準備はじまる！

えんしんネット(11ch)

6月15日の全議員協議会で、議会開会中の議場のテレビ中継(えんしんネット・11ch)を実施するための協議が担当課との間で行われ、おおよその実施予定が固まった。協議会では担当課から9月議会に中継実施のための補正予算を計上し、実施に向けた作業を進めたいとの意向が示され、議員の賛同を得た。中継の開始時期については、多くの議員が12月議会からの実施を希望したが、担当課側は12月議会でテストを行い実施

議会のテレビ中継 実施に向け動き出す

本定例会は6月8日から15日まで(8日間)開催され、諸報告、9名の議員による一般質問に続き、報告4件、議案5件、平成22年度一般会計補正予算及び特別会計補正予算3件、追加議案1件が上程され、慎重審議の結果すべて原案通りに可決した。また、請願3件は各常任委員会に付託され、本会議の表決では可決2件、否決1件であった。

なお、5月11日に臨時会が開催され上郡小学校耐震補強工事の請負契約が可決された。

7月22日に開催された臨時会では専決処分1件、工事変更契約締結2件が上程され可決された。

は来年の3月議会からという希望であった。またテレビカメラの位置、台数、オペレーター席の位置についても案が示された。中継を見ることができない人のための、録画放映の必要性も議論された。

開会中の議会の映像の公開については是非を問う議論は、当議会では前町長の頃から行われてきたが、これで光ファイバー網を通じた各家庭への映像の配信がいよいよ実現することになった。



▶ 議会風景

平成22年度予算の補正

(単位：千円)

会計名	補正月	補正前	補正額	補正後	主な補正理由
一般会計	6月	6,737,000	79,412	6,816,412	昨年の台風9号に伴う災害復旧事業の実施及び自主放送製作に対する補助採択により、CATV会計からの予算組み替えによる
	7月	6,816,412	35,600	6,852,012	上郡小及び山野里小の施設整備事業
特別会計	国民健康保険事業会計(事業勘定)	1,762,343	4,108	1,766,451	非自発的失業者に係る保険税軽減措置対応のシステム改修の必要が生じたため
	介護保険事業会計	1,269,821	1,574	1,271,395	介護予防実態調査分析支援事業の実施のため
	ケーブルテレビ管理運営事業	60,900	△ 924	59,976	支障移転に伴う工事請負費の増額と補助採択に伴う一般会計への予算組み替えによる

臨時会

5月11日開催

○専決処分の承認

平成22年3月31日付で専決処分された上郡町税条例の一部、上郡町都市計画税条例の一部、および上郡町国民健康保険条例の一部の改正、計3件が承認された。

7月22日開催

○専決処分の承認

平成22年7月1日付で専決処分された小学校施設整備事業に伴う一般会計補正予算について、歳入歳出それぞれ3560万円の増額を承認した。

〔質疑〕

問 契約変更の前に補正予算を専決処分する理由はなにか。

答 工事請負変更契約の金額確定には詳細設計(変更設計)が必要で、最初に変更設計のための設計料(委託料)の増額が必要である。その後に変更設計を行い工事費を固めた。
問 誰が変更を提案したのか。
答 設計の際は足場は無く目視で調査する。工事施工のための足場を組み調査した結果、今回の変更が生じた。

工事請負変更契約締結の件

上郡小学校耐震補強改修工事

契約の目的 上郡小学校耐震補強改修工事
契約金額 変更前 237,510,000円
 変更後 255,671,850円
契約の相手方 姫路市下寺町101番地
 平錦建設株式会社
 代表取締役 延澤 忠行
議 決 平成22年7月22日
 賛成 9 反対 2

18,161,850円増額
(変更金額内訳)

南棟外壁改修	1,160万円
東渡り廊下棟外壁屋根	550万円
西渡り廊下建具外壁パネル	32.1万円
北棟外壁補修	74万円

工事請負契約締結

上郡小学校耐震補強・改修工事

契約の方法 制限付き一般競争入札
契約金額 237,510,000円
契約の相手方 姫路市下寺町101番地
 平錦建設株式会社
 代表取締役 延澤 忠行
議 決 平成22年5月11日

工事請負変更契約締結の件

山野里小学校耐震補強改修工事

契約の目的 山野里小学校耐震補強改修工事
契約金額 変更前 244,650,000円
 変更後 252,059,850円
契約の相手方 赤穂市木津字稲荷山1325番地95
 株式会社柄谷工務店 西播磨営業所
 所長 森島直樹
議 決 平成22年7月22日
 賛成 9 反対 2

7,409,850円増額
(変更金額内訳)

南棟・北棟外壁改修	230万円
屋内運動場外壁改修	344万円
音楽室床補強	85.2万円
トイレ手摺増設	81.8万円

〔反対討論〕 山本守一議員

過去の変更契約議案を調べると平成18年6月定例会からこの臨時会までに12件の変更契約がある。その都度意見を述べ議決したが、特に今回は調査不足・協議不足等安易に入札執行された結果だと思う。よって反対の立場での討論とする。

東備西播定住自立圏フォーラム開催

上郡町と赤穂市、岡山県備前市が進める「東備西播定住自立圏構想」の実現に向け、今後の課題や連携の在り方を考える「定住自立圏フォーラム」が7月3日、赤穂市中広の文化会館ハーモニーホールで開かれた。

元総務大臣の増田寛也氏が基調講演を行い、地方自治体が単独で行う行政サービスの難しさに言及、不足部分を補完し合うべきと話した。

3市町の首長と増田氏によるパネルディスカッションでは、医療や観光振興、公共交通などにつき意見交換した。



▲ 東備西播定住自立圏フォーラム

鋭い質問に提案 子ども議会開催

明日の上郡町を築く小学生が、議会形式の体験学習をとおして地方議会の役割や地方自治体の仕組みを学ぶとともに、議会をより身近なものにする目的で7月20日、町議会議場で子ども議会を開催した。

子ども議会は各小学校から4名ずつの20名。田淵議長から議員任命書の交付を受け、議長に種継大祐君を指名、午後1時30分開会。

子ども議員は1人ずつ、町長や町幹部に質問・提案をおこない答弁を求めた。

内容は、合併をしなかった理由、人口減や水害への対策、学校統廃合と跡地利用、直通電車、図書館建設や学校給食実現への提案、河川改修、ゴミのない町づくり、町の特産物、高齢者や障がい者が暮らしやすくなる施策など、町の現状と将来について真剣で鋭いものばかりであった。
 町当局は、「学校給食は最大の懸案課題であり検討中、

付託審査報告

総務文教常任委員会
(6月11日開催)

子育て中の休業取得の範囲が拡大

国家公務員の育児休業等の法律改正に準じた条例改正で、配偶者が育児休業中の職員の育児休業等の取得が可能になる。

審議では、「職員が育児休業等を取得できる範囲が拡大し、男女共に子育てをしながら働ける環境が整い、少子化対策にも繋がる」との意見一致に至り、全会一致で、本案を原案のとおり可決すべきと決した。

請願書「30人以下学級実現、義務教育費国庫負担制度拡充に関する件」を不採択

紹介議員による請願の趣旨説明を受け、審議を行った。

「意見」
・日本の教育を考える10人委員会による保護者へのアンケート(2007)

で「適正なひとクラスの児童生徒数」に半数近い人が30人を選んだ。請願書はこの数値を主たる根拠として30人以下学級の実現を求めているが、教育実践から導かれる根拠が示してなく、主体性にかける」と判断される。

・請願書の内容は国レベルの問題提起であり全国的な組織としての名称にすべきである。当委員会は慎重審議を経て多数決採決の結果、本請願は不採択とすべきものとした。
本請願書は本会議で表決が行われ、不採択(賛成5・反対6)となった。

民生建設常任委員会 (6月11日開催)

福祉医療費助成条例の一部改正

改正の主な理由としては、重度障害者医療及び乳幼児医療対象者の判定は、障害者自立支援医療制度の基準を準用し、町民税の所得割税額をもとに行っており、控除後の所得金額に着目して、受給者の所得状況を判断しているため、住宅借入金等特別控除により、

所得状況を正しく判断できなくなることを避けるため改正。

「質疑」
問 改正に伴う町民への影響については。

答 所得状況を正しく判断するための改正であり、町民への影響は無いと思う。

以上慎重審議の結果、本案は原案のとおり採択すべきものと決した。

請願書「保険でよりよい歯科医療の実現の意見書」採択

安全性等に関わるものは保険が適用されるよう要望しているが、厚生労働省は、保険適用外は自費で対応すべきとの方針であるため、保険適用の拡大と歯科医院の増加原因は、診療科目に歯科を持つ病院の多くが廃業しているため、開業せざるを得ないためである。

医療費は、毎年1兆円の自然増であるが、歯科医療費は、16年間、毎年2兆5000億円のまま推移しているが、反面、歯科医師、歯科技士等は増加しているので待遇が悪くなっている。

委員会は全会一致で採択。

本会議も採択(賛成11、反対0)。

請願書「保育制度改革に関する意見書提出を求める件」採択

「質疑」

問 国において保育制度を充実させるためには、どの程度の予算増額が必要なのか。

答 現在、国の保育所関連予算は、1%であるが、2%は必要と考える。

問 少子化対策にはどのような施策が必要か。

答 地域の少人数保育所を維持すれば定住が促進され、少子化対策になると考える。

「意見」

・請願の趣旨、理由は理解できるが、訴えの本意がよく分からないため、慎重に研究等を行う必要があると判断し継続審議を求める。

・現状の保育制度は不十分であり早急に改善する必要があるため、請願の趣旨に賛同する。

委員会は全会一致で採択。

本会議も採択(賛成9、反対2)。

財産の取得に係る契約締結の件

1. 取得車両 消防ポンプ自動車(CD-1型)、1台
2. 配備先 駅前分団
3. 契約の方法 指名競争入札
4. 契約金額 15,960,000円(消費税含)
5. 契約の相手方 たつの市新宮町井野原276-1 榎岡本ポンプ 代表取締役 岡本 洋

1. 取得車両 中型マイクロバス(29人乗り)、1台
2. 契約の方法 指名競争入札
3. 契約金額 16,279,410円(消費税含)
4. 契約の相手方 上郡町山野里2336-1 小寺自動車 代表 小寺 繁美

2〜3年うちに目鼻が立つのではないか」などいねいに答弁。途中で議長が交代(小谷貫輔君)し3時30分閉会した。傍聴者は33名、子ども議会開催は24年ぶり。

委員会報告

5月26日に総務文教常任委員会が、5月24日に民生建設常任委員会がそれぞれ開催され、各課が行っている事業等の進捗状況などが報告されました。主なものは次の通り。

総務文教常任委員会

○町税の徴収率はまあまあ

4月末での平成21年度の滞納分を含めた徴収額は町税が24億3252万8000円（徴収率：94・5%）、国民健康保険税が3億8199万1000円（徴収率：74・9%）である。平成21年度の差押え物件は71件、換金額は245万円。

○山野里小学校と上郡小学校の耐震化工事

今年の5月から10月にかけて工事を実施する。工事は土曜日、日曜日と夏期休業中に行う。高田小学校と高田幼稚園については、それぞれ平成23年度と24年度に実施予定。

○町の将来はどうなる

本年度は第4次総合計画

施設の利用提案、課題等を取りまとめると共に、地元意見の聴取、集約等を行う。

○子ども議会の開催

日程等についての案が示されたが議場の使用につき議会との協議がなく、再度手続きを踏むことを求めた。内容についても予め議会に提示、協議することになった。

○人口はどう推移したか

本年度は10年毎の国勢調査の大規模調査が行われる。平成22年10月1日（金）午前零時が調査の基準時。調査項目は性別、出生年月、5年前の住居の所在地、就業状態等々。6月から10月下旬にかけて指導員の任命、調査員の任命、調査活動の順で行う。

○万全な防災体制を求めて

現行の上郡町地域防災計画を見直し、新計画を策定する。策定委員会と地域防災会議が原案作成の調整・検討を行う。町が示した仕様書に対して提出された提案書の内容を検討し、原案作成の委託業者を選定した（株式会社日本出版）。

来年3月に新計画を仕上げる予定。

災害時に地域住民が連携し避難できるように、情報伝達と避難訓練などを行う。避難訓練は9月頃（1地区）、防災リーダー研修は来年2月（全地区）の予定。

正確で迅速な情報伝達のため、屋外拡声器の全町域での整備を進める。

○自主放送の本格的な取組が始まる

地域の一体化と活性化を図るため、自主放送（CATV）の充実を図る。番組には文字放送、制作番組（けいすけじゃ等）、行政番組、天気予報、L字放送等を計画している。制作番組と行政番組は毎月2回（1日と16日）更新の予定。

○今後の選挙予定

上郡町長選挙は11月7日、県議会議員選挙は平成23年4月10日（予定）。

自治功労者表彰

去る5月25日、兵庫県町議会議長会定例総会において、多年にわたり議会議員として地方自治の振興発展に尽くされた功績が認められ、田淵・沖両議員が表彰された。



田淵重幸



沖 正治



民生建設常任委員会

○駅前広場を整備へ

駅前広場整備事業は、

駅前広場整備工事に着手。工事費は1億600万円。ほかに物件移転1件を予算化している。竹万区画は、第3公園を整備する。道路舗装工事は上中野4号線（高田）ほか2件、道路新設改良は上郡川筋線（栄町）ほか2件、道路維持工事は湯ノ脇釜ヶ谷（船坂）ほか2件、河川維持工事はイガキ谷川（鞍居）ほか1件、公園工事は丹東公園（山野里）ほか1件を計画。

〔質疑〕

問 駅前区画事業の残事業費は。

答 約6億円。

○赤松水源地など移転へ

水道事業は、千種川床上浸水対策に伴う水管橋架設（井上）、隈見橋配水管移設、新田橋送水管布設工事など。

下水道事業は、上郡浄化センター整備の最終年になり、ほかに高田台地区の侵入水調

査などの事業を進める。

兵庫県から、災害復旧緊急事業の支障となる物件として赤松水源地及び管路、河野原、楠両下水処理場の移転依頼があり対処方法を検討する。

○墓碑は98基

上郡霊苑の使用率は、63%で墓碑工事は完了は98基。（5月24日現在）

〔質疑〕

問 町外者の申し込みは

答 問い合わせはあるが契約に至っていない。

○鞍居診療所の利用状況

受診者数は1日当り44人、1日当り28万5000円の収入、1ヶ月当り585万円で年間6900万円を超える収入になる見込みである。

〔意見〕

問 平成21年度の収入見込みについては。

答 診療収入で十分賄える見込みです。

○ファミリー・サポート・センター設立について

育児の援助を受けたい人と行いたい人を結び会員組織で

行う事業は、現在県内では24市町が実施しており、たつの市、相生市、赤穂市が既に実施している。

〔意見〕

早く実施するように努力を望む。

〔答弁〕

活動内容、活動報酬、運営規定等を調査研究した後、会員募集、講習等を行い年内にはセンターが設立できるように取り組んでいく。

○直営自立デイサービスについて

利用者が増加したので、今年度から週2日から週3日に変更。利用状況は、3日間で34人です。

○ヒフワクチンの助成制度始まる

〔本年度から上郡町と

兵庫県において実施

助成額は、生後2か月から5歳未満を対象者（所得制限なし）で接種1回につき2000円、県では、生後2か月から2歳未満を対象（所得制限あり）1回につき費用の2

分の1を助成（接種1回の助成限度額は、4000円）することとなっている。

○食育推進計画策定について

平成17年7月に施行された食育基本法では、都道府県の食育推進計画を基本として、市町村が特性を生かした自主的な計画を策定することになっている。

職員で組織する調整連絡会及び関係機関、関係団体で組織する上郡町食育推進計画策定委員会を設置します。

計画期間は、平成23年から5カ年間とします。

〔意見〕

計画策定委員会の選定については、町民の意見が幅広く届くよう考慮願いたい。

千種川床上浸水対策 特別緊急事業特別委員会

○上郡橋11月末完成予定

昨年の台風9号の影響で上郡橋上部、取り合い道路、大持井堰工事など11件が繰り越しになり、隈見橋上部、大持井堰2、3期、護岸工事など7件が本年度着手予定。

工事の進捗状況は70%。事業期間が1年延長され、平成23年度までとなる。

〔質疑〕

問 延長になると事業費が変更になるのか。

答 変更はないと聞いている。

問 梅雨など出水期の対策は。

〔答〕 河川内の土砂も撤去している。溢水の恐れのある箇所は、大型土のう（トン袋）を設置していく。

〔意見〕

説明にあたっては、平面図や工期計画表だけでなく要所や要所の縦横断面図や完成図形（合成写真など）の提示を要望する。

ここが知りたい！ 一般質問

一般質問では、6月10日から6月12日までの3日間、9人の議員が質問に登壇しました。主な質問の内容、町長等の答弁の要旨は次のとおりです。

- 1番 藤本ゆうき 議員
国際交流について…………… P 7
- 2番 工藤 崇 議員
大雨情報を早急にライブ映像で…… P 8
- 3番 阿部 昭 議員
4年間の統括と出馬表明は…………… P 8
- 4番 赤松初夫 議員
便利な公共交通の実施を…………… P 9
- 5番 村上 昇 議員
転作助成金の「捨て作り」について … P 9
- 6番 井口勝智 議員
日本航空学園の誘致について…………… P 10
- 7番 大政正明 議員
計画で謳うテクノの活用をもっと… P 10
- 8番 山本守一 議員
不安払拭する将来像示せ…………… P 11
- 9番 沖 正治 議員
教育現場の危機管理…………… P 11

国際交流について

前向きに検討したい

問 現在、兵庫県下でも海外との姉妹都市提携が行われ活発に国際交流がなされている。本町でも、国際性の高揚と魅力あるまちづくりのために積極的な取り組みが必要と思う



藤本ゆうき 議員

が、町長の見解を問う。

町長 県内では26市4町が国際交流しており、前向きに検討していきたい。また、国内で提携できるところがないか模索していきたい。

人材育成について

問 町職員が能力を生かし、やりがいを持って仕事ができる環境づくりは町民サービス

の質を高めることにつながる と考える。町長が率先して努めてほしい。

町長 人事は、上郡町の中枢部分になると思っている。職員のモチベーションが上がるような職場環境にしていきたい。

問 人事制度検討委員会での検討項目をできるだけ早く実施するよう強く要望する。

町長 昇任試験制度については来年4月から採用したい。



職員の執務風景

解説

一般質問とは、議員が町の行政全般にわたって、疑問点をただし、町長、関係課長らから回答を求めめるものです。
定例会（3・6・9・12月）で行われ、臨時議会では行わないこととされています。

肺炎球菌ワクチンについて

問 肺炎球菌ワクチン接種は、子供の感染症予防はもとより、間接的に高齢者の感染症予防にも効果的であるといわれている。接種料金の公費負担を望むが、どうか。

町長 予防医療の充実は重要だと思う。現在、厚労省で予防接種法の改正案が提案、検討されているので、この制度が整備されれば考えていきたい。



河川改修工事中
(旧上郡中学校跡)